

ふれ愛にしうち



第15号

太田西ノ内病院広報誌・第15号

発行／財太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集／太田西ノ内病院広報委員会

発行日／平成16年11月

住所／郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024) 925-1188

ホームページ：http://www.ohita-hp.or.jp/



診療科紹介

形成外科

以前は太田熱海病院から派遣として太田記念病院にて外来診療のみを行っていましたが、平成元年の太田西ノ内病院本館の開設にともなう、独立して外来および入院診療を開始しております。現在は医師4名が診療にあたっております。

外来診療は、月曜日から金曜日の午後と土曜日の午前2名の医師が担当しております。入院病棟として6C病棟を20床利用しております。

ご存知の方も多いとは思いますが、「形成外科」「整形外科」「美容外科」の3つの呼称の違いについてご説明します。

「整形外科」は主に骨・関節などの深いところの運動機能を扱っているのに対して、「形成外科」は主に体の表面の異常を扱っています。すなわち生れつきの形の異常（唇裂・口蓋裂、耳の形の異常、手足指の形の異常、漏斗胸、包茎や尿道下裂など）、生れつきの色の異常（赤アザ、黒アザ、茶アザ、青アザなど）、外傷（熱傷、骨折を含めた顔のケガ、指の浅いケガ、指切断の再接着など）、ケガや手術後の組織欠損や変形、皮膚や皮下の腫瘍（ガンなども含む）などで、これらは健康保険の対象になります。一方健康保険が利用できないもの（自費診療）が「美容外科」で「形成外科」の一分野です。皺とり、二重まぶた、隆鼻術、豊胸術、脂肪吸引などのように病気ではな

いが、より美しくあるいは若く見せるために行う診療です。

当科ではこのような治療を行っておりますが、最近のトピックスは以下の内容です。

(1) 熱傷…できるだけヤケドを早く治すことがヤケド跡を目立たなくするコツです。ヤケドの深さや広さに応じて治療方法を選択変更して、治療にあたります。また当院には県内唯一の熱傷センターがあり、麻酔科などを含めた複数の専門分野が集結して全身熱傷などの重症ヤケドの治療にあたっています。

(2) 唇裂・口蓋裂…太田熱海病院唇裂口蓋裂センターと連携して、総合的な治療を実施しています。

(3) 赤アザ…特に痔状血管腫に対して超早期（生後1カ月以内）からダイレーザ治療を開始して、自然収縮を待つのではなく、早期の積極的収縮に努力しております。

(4) 漏斗胸…大きな傷跡を残さない低侵襲性の内視鏡を利用したNissen法を実施しています。

(5) 陥入爪（巻き爪）…10分前後で治療が終わり、翌日より普通の入浴も可能です。再発や爪の変形も非常に少ないです。

(6) 美容外科…手術の料金が低めに設定し

ております。「美容外科なんて!」と否定されるかたもいらっしゃると思いますが、手術後には患者さまの自信がみなぎり、性格や活動性が良い方向に転換して、われわれスタッフもやりがいを感じる事が多々あります。どうぞご相談下さい。

また形成外科的治療法は時代とも変わっておりますので、時代の流れに即した治療方法を提供できるように日々学習しております。同じ病気でも年齢・性別・部位などにより、治療方法は異なりますので、患者さまに選択できる治療方法を複数説明して相談しながら、最終的に最良の治療方法を決定しております。

ただ外来では患者さまが多いために待ち時間が長くなり、申し訳なく感じておりますが、長い待ち時間に適うだけの診療を提供できるようには努力しております。

治療を受ける受けないは別として、上記のような内容のご相談としても、当科は十分お役に立ちます。都市部では常識になりつつあるセカンドオピニオンとしてご利用いただい

でも結構です。

【お得な情報】当科の外来診療は予約制を原則としておりますので、予約がない患者さまはどうしても待ち時間が長くなります。かかりつけのお医者さまより当科にご紹介をいただければ外来診療の予約が可能ですので、ご利用いただければと思います。

（福屋安彦）



形成外科スタッフ

西ノ内見聞録

5C病棟

いつも笑顔で、
思いやりの心を



5C病棟スタッフ

5C病棟は、本館の5階にある整形外科病棟です。整形外科だけの単科の病棟で、52床を有し、小児から高齢者までの患者様が入院されています。5C病棟の入り口まで来ると、車椅子や松葉杖・歩行器で移動されている患者様の姿があり、すぐにここは整形外科病棟とわかります。スタッフは整形外科医6名、看護師19名、ナースエイド6名です。整形外科

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その全容にせまってみたいと思います。

4A病棟

明るくきめ細やかな対応を



4A病棟スタッフ

4A病棟は5号館4階にあり、循環器科・救急麻酔科・呼吸器科の混合病棟です。平成14年に開設され3年目を迎えたばかりの病棟です。複数の科を受け入れていること、短期間の入院の患者様が多いことから、1日の入院が7〜8名になることもしばしばあり、平均在院日数も18〜19日と短くとても入退院が激しい病棟です。

循環器科では、主にうつ心性心不全・心臓カテーテル検査・ペースメーカー挿入の患者様が多く入院されています。心臓カテーテル検査においては、2泊3日の短期入院で検査ができ月に40〜50名の患者様が入院され、検査を受けられています。

救急麻酔科では、帯状疱疹後の疼痛コントロールの患者様や救急外来に来院され救命センターに入院する必要はないが入院して経過観察が必要であるといった患者様が入院されています。

呼吸器科では、1泊入院の気管支鏡検査や化学療法患者様、また気管支喘息・肺炎・慢性呼吸器不全の患者様が入院されています。

今年4月からは、循環器科・救急麻酔科・呼吸器科の3科に加え血液内科の患者様の入院も受け入れています。

このように複数の科を受け入れて忙しい病棟ではありますが、私たちは、いつも笑顔で明るくきめ細やかな対応を心がけ、患者様の想いを常に考え看護が実践できるよう努めています。

(佐藤友子)



(作本博子)



リハビリあれこれ③ あなたは危険を冒してまでも食べますか？

食事中にムセる・飲み込みにくい・発熱や肺炎を繰り返す・常にとがゴロゴロしている・食事に時間がかかる・食欲がない・食後に痰や咳が増える・体重が減少している。こういった症状はありますか？このような症状があると、摂食嚥下障害を疑います。

摂食嚥下障害とは、摂食（食べること）と嚥下（飲み込むこと）の障害で、炎症・腫瘍などにより食べ物が通りにくくなるものと、脳血管障害をはじめ、種々の神経・筋肉の病気、あるいは加齢などにより、食べ物を食道に上手く送り込めなくなるものがあります。

指標の一つである食事中のムセ（咳嗽反射）は図1のように、誤嚥すること（食べ物が食道ではなく誤って気管の方へ入ること）で生じます。頻回にムセる

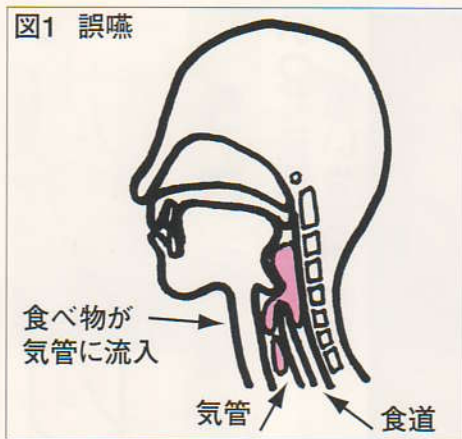
方は、何度も気管に入りかけている状態であると考えられます。この他、ムセを繰り返すことや、病気によってはムセが起らないまま気管に入っていることもあるので要注意です。

摂食嚥下障害になると、適切な対応がされないとい肺炎の発症につながります。肺炎は高齢者の死因の上位にあり、その多くが誤嚥による肺炎と言われています。「ムセるけど、今のところ食べられるから大丈夫」と軽視してはいないでしょうか？口から食べることの楽しみが奪われるだけでなく、危険との隣合わせであるとも言えるので、慎重な判断が必要なのです。

各人の病気や障害にあわせた食べやすい食事内容・食事中の姿勢・飲み込み方、などちょっとした工夫で、安全に食べられることもありますので、心配な方は主治医・院内スタッフを通してST（言語聴覚士）までご相談ください。

（菅原（神田）ちひろ）

図1 誤嚥



放射線あながな③

CRとは、コンピュータ・ラジオグラフィ（Computed Radiography）の略で頭文字をとってそう呼んでいます。

西ノ内病院では、平成16年2月から一部の特殊撮影を除いてCR撮影により画像を提供できる環境になりました。

CRの原理は、X線撮影時に増感紙とフィルムが入ったカセットの代わりに、イメージングプレートが入った専用カセットを使います。このイメージングプレートは特殊な蛍光物質が塗布され、撮影されたX線情報を一定時間蓄積できる特性をもちます。それを利用し撮影されたイメージングプレートの蓄積情報を画像読取装置のレーザー光でデジタル画像として取り出し、画像処理後にプリンターで、フィルム上に画像記録します。

CRの得意技

①「鮮明で診断領域の広い画像が提供できる。」従来のフィルム法より「骨部」と「軟部」の両方の情報を描出させることができます。またコンピュータが部位別に最適な画像処理をするので、目的部位の情報をより引き出すことができます。

②「均一で安定した濃度の画像が得られる。」フィルム法では、被写体の厚み、体位により適切な濃度、コントラストを得るためには細心の撮影条件の設定が要求されます。CRでは多少の撮影条件の振れに対して、

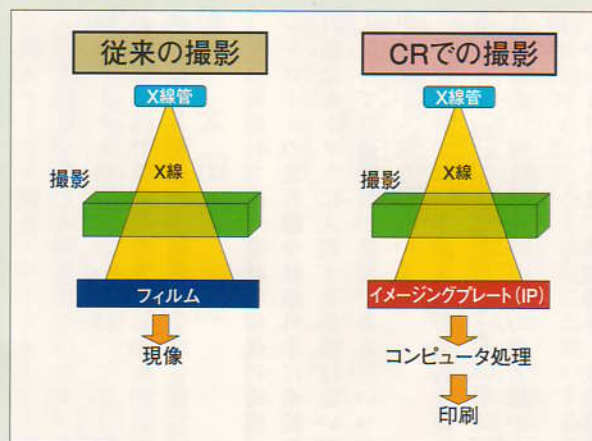
CRとは？

適切な濃度、コントラストになるように、自動的に画像調整します。

③「明室での画像処理が出来る。」従来フィルムの現像は暗室下で処理されていましたが、CRでは明るい作業環境で、効率的に進められています。完全明室処理と自動処理システムにより、カセットを挿入するだけで最終の目的画像出力まで、作業の流れが単純化し時間的にも速くなります。

他いろいろ利点がありますが、常に最適な画像を提供出来るように努力しておりますので、ご意見お待ちしております。

（田代 雅実）



* 事務室より * ~新システム稼働~ *

当院では、8月2日より会計のシステムが変わりました。電光掲示板を設置し会計番号を表示することにより、一人一人名前を呼ばなくなり、以前より静かな雰囲気になりました。また、名前を呼ばれるまでずっと耳を傾けている必要もなく、席をはずしている間に名前を呼ばれていて気づかなかったというようなこともなくなりました。

変更後の流れは次の通りです。

①診療終了→②受付7番で会計受付発券機に診察券を入れ会計受付票を取る。→③会計受付票の番号を確認する。(番号が0番の時はすでに請求書がでています。)→④電光掲示板に自分の番号が表示されたら受付4番で請求書を受け取り支払い。→終了となります。

ただし、複数科受診される場合は、すべての受診科が終わらないと請求書が出ませんので、すべての科の診療が終わってから会計受付をされますようお願いいたします。

また、料金算定システムも変わりました。新しい機器を導入し、会計の待ち時間も平均で5分ほど短縮されました。

今後も、よりスムーズに会計できるよう改善努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(医事課)



電光掲示板



会計受付発券機

【材料】〈2人分〉

生いか	2 はい	にんにく(みじん切り)	1 かけ
鶏ひき肉(もも)	50g	パセリ(みじん切り)	大さじ2
えのきだけ	160g	オリーブオイル	小さじ1
生しいたけ	4 枚	白ワイン	カップ1/2
オリーブオイル	小さじ1	塩・こしょう	適宜
卵	1 個		

〈1人分〉 エネルギー 260kcal
たんぱく質…26.9g 塩分…13.2g



イカのポンポン焼き

彩
食
健
美

- 一年中出回っているイカにはコレステロールを抑制し、血圧を下げる働きがある「タウリン」が多く含まれています。
- 亜鉛や銅などのミネラルもたっぷり含まれているため、皮膚の粘膜などを守り、肌のかさつきを防いでくれます。空気が乾燥する季節には、ぜひ食べたい食材です。
- 今回は低脂肪・高たんぱく質・低エネルギーのイカときのこをたっぷり使った、ボリューム満点の一品を紹介します。
- レモンの酸味で食べると塩分も控える事ができます。
- 【作り方】
- ①イカは足を引き抜いて、内臓・軟骨をとる。足は吸盤をしごき取り、水で洗って粗く刻む。
 - ②えのきだけは根元を切り落とし、半分に切る。しいたけは石づきを切り、薄切りにする。
 - ③フライパンにオリーブオイルを小さじ1杯入れて熱し、にんにくを入れて香りが出たら、イカの足・きのこ類を炒め塩・こしょうで味を調える。
 - ④ボウルに鶏ひき肉・③・卵・パセリ・塩を入れて混ぜ、イカの胴の中に詰めて、口をようじでとめる。
 - ⑤フライパンにオリーブオイルを小さじ1杯入れて熱し、イカの両面に焼きが付くまで焼く。火を弱めて白ワインの半分量を振り入れ、ふたをする。
 - ⑥汁けがなくなったら、イカを裏返して残りの白ワインを加え、ふたをして汁けがなくなるまで蒸し焼きにする。
 - ⑦冷ましてから切り分ける。パセリ・くし型に切ったレモンを添える。



おおつき耳鼻咽喉科クリニック



おおた呼吸器クリニック



ひわだ太田診療所



オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師のご紹介をしていきます。

おおた呼吸器クリニック



院長 太田 隆

昭和56年弘前大学医学部卒業、その後、東京都老人医療センター、東海大学医学部附属病院、国立療養所神奈川病院、国立がんセンター等で研修、昭和62年から平成14年太田西ノ内病院勤務、平成14年11月おおた呼吸器クリニック開業。



中央 太田隆先生とスタッフのみなさん

良の医療を提供出来るように頑張っていきたいと思っております。



昭和62年から平成14年まで、太田西ノ内病院呼吸器科にお世話になっておりました。平成14年11月に開業し、ちょうど2年になるところです。勤務医時代、本当は定期通院が必要な病状なのに仕事等が忙しくて規則的な通院治療ができず、発作を起こして夜間救急外来を受診されたり、緊急入院になってしまった喘息の患者さん等を数多く診てまいりました。その中には、定期通院ができて適切な治療が継続出来ていれば、発作を起こさず済まないで済んだと思われる患者さんも多数おられました。病状が比較的安定している時は、通院しやすい診療所で日常生活での注意（予防医学）や種々な悩みの相談等も行いながら治療を続け、病状によって入院が必要になったり、精密検査が必要になったりした場合には、時期を逸することなく病院にお願いすることが大切だと考えております。今後もこのような考えのもとに、一人一人の患者さんにとって最

所在地／〒963-8041
郡山市富田町字上田向13-3

電話／024-991-0515

FAX／024-991-0520

診療科／呼吸器科・内科

休診日／水曜午後

日曜・祝祭日

診療時間／月・木・金曜日

午前9:00～午後1:00

午後3:00～7:00

火曜日 午前9:00～午後1:00

午後3:00～9:00

水曜日 午前9:00～午後1:00

土曜日 午前9:00～午後1:00

午後3:00～5:00

往診・訪問診療／往診可能

登録医から

おおつき耳鼻咽喉科クリニック



院長 大槻 好正
昭和49年 福島県立医科大学卒業
昭和62年 同大学耳鼻咽喉科入局
平成13年 星総合病院勤務
おおつき耳鼻咽喉科クリニック 開業



中央 大槻好正院長とスタッフのみなさん



当クリニックは、平成13年8月に八山田ヨークタウン西側に開業し、今年で4年目になります。耳、鼻、のど、めまい等の疾患を対象とするクリニックです。私は医師となつて30年になりますが、これまで培ってきた経験を生かし、患者さんにはできるだけわかり易い説明と丁寧な治療をしようと心掛けています。耳鼻咽喉科疾患は、手術を必要とする疾患が多いため、外来診療のみで良い疾患と、入院治療が必要な疾患との区別、判断を適確に行い、患者さんに信頼される医療を行っていききたいと思っております。

所在地／〒963-0551
郡山市喜久田町字四十坦8-97
電話／024-990-2033
FAX／024-990-2055
診療科／耳鼻咽喉科
休診日／木曜日、日曜日、祝祭日
診療時間／月～水・金曜日
午前9:00～12:00
午後2:30～6:00
土曜日
午前9:00～12:00
午後2:30～4:00
病床数／なし
往診・訪問診療／なし

登録医から

ひわだ太田診療所



理事長 太田 弘昌
昭和56年秋田大学医学部卒業、同第一内科入局
昭和60年同大学院修了、医学博士号授与、昭和62年太田綜合病院附属太田西ノ内病院、太田記念病院消化器科勤務を経て、平成11年11月ひわだ太田診療所開業
院長 太田 恵子
昭和56年昭和大学医学部卒業、同第一内科入局
昭和60年同大学院修了、医学博士号授与、昭和60年太田綜合病院附属太田熱海病院勤務を経て、平成6年4月ふくやま太田診療所開業、平成11年11月ひわだ太田診療所開業



前列右より 太田恵子院長と太田弘昌理事長とスタッフのみなさん

当院は、富久山町に、「ふくやま太田診療所」として平成6年4月に開院し、平成11年11月より日和田町のジャスコより国道4号をはさんで東側に「ひわだ太田診療所」として新しく開業しました。現在、夫との二人体制で診療をおこなっております。富久山での開業より早や10年。お互いの専門性を生かし患者さんともさまたちとなり、一開業医としてスタッフ共々、「目くばり・気くばり・思いやり」を大切に、総合的な診療を心がけておりますが、より高度な検査や治療が必要な患者さんもおられ、太田西ノ内病院をはじめとする開放型病院との病診連携により、スムーズにCT・MRI等の検査や専門的医療を受ける事ができ、とても感謝しております。そして、紹介状のお返事により、勉強となる事も多く安心して日々の診療に当る事ができます。病診連携を密にして、個々の患者さんに合った安心できる医療を受けられますように努めていきたいと思っております。今後共どうぞよろしく願いたします。

所在地／〒963-0534
郡山市日和田町字原12-41
電話／024-968-2311
FAX／024-968-2312
診療科／内科・呼吸器科
アレルギー科・消化器科
循環器科・小児科・皮膚科
休診日／日曜・祝祭日
診療時間／月・金曜日
午前9:00～午後1:00
午後3:00～7:00
火・木曜日
午前9:00～午後1:00
午後3:00～6:30
水・土曜日
午前9:00～午後3:00
病床数／なし
往診・訪問診療／あり

登録医から

★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②名付けの理由
- ③子どもに願うこと
- ④ご両親の決意を一言

データ

おか べ そう た くん
岡部 聡大

- 平成16年9月26日
15時13分生まれ
- 体重3165g
- 父：岡部 芳輝さん
母：岡部 未来さん



データ

なか むら はな ちゃん
中村 華

- 平成16年9月26日
5時47分生まれ
- 体重3185g
- 父：中村 和芳さん
母：中村さおりさん



聡大くんとお母さん

- ①やっとなんて生まれた。
- ②のびのびと心も体も大きな子に育ってほしい。
- ③意志をしっかり持った子。自由に何でも話せる親子関係を作りたい。



華ちゃんとお母さん

- ①かわいくて×2 愛しくて×2 生まれてきてくれて本当にありがとう。
- ③思いやりのある明るく元気な子。

投稿募集

太田西ノ内病院広報委員会では皆様からの原稿・写真等を募集しております。今後の広報誌に掲載してほしいものがありましたら、広報委員会までご連絡下さい。

編集後記



久しぶりに蓬瀬公園に出かけました。
近くに住んでいるので、子供が小さい頃は、よく散歩に来たものでした。銀杏の葉が黄色に色づいています。
公園事務所の後方に、二棟のサボテン園があります。「こ

このサボテン、380種、830株は、太田総合病院、初代理事長太田辰雄先生が収集していたもので、お亡くなりになられた後、太田緑子名誉理事長が県に寄贈されたものだ」との説明板があります。
「辰雄を語るとき欠かせないのがサボテンである。まだ東大の助手だった頃、給料日に目にとまったサボテンをどうしても手に入れたくなり、49円の給料から25円の大金で買い求め、結婚間もない緑子に「今月どうやって暮らしたらいいの」と泣きつかれたとのエピソードがある。この時の緑子の泣き顔がかなりこたえたのか、そのサボテンに「緑般若」と名づけて大切に育てた。」(太田総合病院100年の軌跡誌より)

ありました！ありました！「緑般若」、高さは60センチ位でしょうか。何か格別の親しみを感じます。買った当時はどれ位の大きさだったのでしょうか。辰雄先生がお亡くなりになって21年、先生が丹精込めて育てたサボテンがここに根づいているのです。花が咲いているのがあります。しばし、ながめて外へ出ると、水琴窟がありました。しゃがんで、耳を近づけると、確かに、水のしずくが響くように唄っていました。
来年で創立110年を迎える太田総合病院。自分自身の仕事の分野で、何をひきつぎ、何を発展させていくのか、日常の生活に流されて、日頃は考えない事に思いをめぐらしながら、公園をあとにしました。
この広報を手にとった皆様と、より深い「ふれ愛」が生まれますように。
中嶋健起

太田西ノ内病院広報委員会

委員長 須田 秀一
委員 遠藤めぐみ・朝倉 俊成
後藤 桂子・松田美津子
荒川 幸徳・木原 均
鈴木 理恵・新里 昌一
中嶋 健起
佐藤 浩徳(幹事)